

女性アルコール問題の特徴と対策

特 徴	対 策
若い女性の飲酒者の増加 胎児や乳児に対するアルコールの影響が知られていない	<ol style="list-style-type: none">1. 女性は男性よりアルコールに脆弱であることの知識の普及2. 次世代へのアルコールの影響に関する知識の普及（学校、職場、医療機関等）
患者数は増加傾向にあるが、相談窓口や女性対象のリハビリプログラムを実施する医療機関が少ない	<ol style="list-style-type: none">1. 女性対象のリハビリ施設を増やす2. 女性の自助グループの活性化3. 診療報酬による誘導
若い女性の飲酒者が増加しており、FAS発生の増加が懸念される	<ol style="list-style-type: none">1. 定期的な実態把握（妊婦の飲酒やFAS症例の発生件数）2. 助産師へのアルコール問題に関する知識の普及
家庭内暴力、児童虐待と関連	<ol style="list-style-type: none">1. 実態調査が必要2. DV相談窓口、児童相談所、警察等の機関におけるアルコール問題に関する知識の普及

高齢アルコール問題の特徴と対策

問題点	対策
高齢アルコール問題は退職後に多いが、医療機関でも見逃されやすく、問題が深刻化しやすい	<ol style="list-style-type: none">1. 実態の把握が必要であり、危険因子の同定のためには前向き調査が必要2. 早期発見への対応（啓発、一般医療機関への知識普及）
要介護者や認知症者のアルコール問題は実態がほとんど知られていない	<ol style="list-style-type: none">1. 介護や施設における実態調査が必要（横断的・縦断的）2. 介護関係者へのアルコール問題に関する知識の普及
介護施設におけるアルコール問題は介護負担を増大させる	<ol style="list-style-type: none">1. 実態調査2. 介護関係者へのアルコール問題に関する知識の普及